

西伊敷校区

(主に西伊敷1～7丁目)



平成22年3月現在	世帯数	総数	男	女
西伊敷一丁目	377	923	423	500
西伊敷二丁目	389	878	393	485
西伊敷三丁目	732	1,653	721	932
西伊敷四丁目	644	1,611	725	886
西伊敷五丁目	351	892	413	479
西伊敷六丁目	533	1,287	594	693
西伊敷七丁目	758	1,793	847	946
合計	3,784	9,037	4,116	4,921

町内会名(20町内会)

西伊敷第1区、第2区、第3区、第4区、西部住宅七友会、
西伊敷住宅第一、第5区、第6区、第7区、第8区、第9区、
第10区、第11区、第12区、第13区、西伊敷5丁目、
西伊敷6・7丁目、西部第2住宅、西部第3、伊敷団地公務員宿舎町内会



NISHISHIKI

西伊敷を守るニシイシキッド

西伊敷には夏に3つの大きな行事があります。鹿児島市との友好都市中国の長沙市の花火を打ち上げる中国花火大会、町内会連合会主催の納涼大会、さらに西伊敷商店街本通り主催の銀河ロード祭りです。

平成20年の第15回銀河ロード祭りの企画のときに、通り会青年部から、「種子島のタネガシマンのようなご当地ヒーローを西伊敷にも呼ぼう」という声があがり、正義の味方(?)に連絡をお願いして、「ニシイシキッド」が西伊敷に来るようになりました。



伊敷校区

(主に伊敷1～8丁目)



平成22年3月現在	世帯数	総数	男	女
伊敷町	160	368	162	206
伊敷一丁目	842	1,762	804	958
伊敷二丁目	438	878	399	479
伊敷三丁目	387	1,040	502	538
伊敷四丁目	141	384	187	197
伊敷五丁目	636	1,514	717	797
伊敷六丁目	320	786	368	418
伊敷七丁目	440	1,076	487	589
伊敷八丁目	240	567	270	297
合計	3,604	8,375	3,896	4,479

町内会名 (8町内会)

田入道・長井田、伊敷宇都、伊敷仮屋、伊敷脇田、伊敷肥田
伊敷新村、飯山、河頭



伊敷仮屋に住んでいた桂庵玄樹

桂庵玄樹は1427年室町時代の後期に山



口県で生まれ、16歳の時京都の南禅寺で出家した高僧です。

1467年から6年間中国の明に留学し、当時の最先端の学問であった朱子学を学びました。

帰国後の京都は応仁の乱で混乱し、落ち着いて学問ができる環境ではなく、九州を遍歴して

いた1478年に、島津家11代忠昌から薩摩に招かれました。

桂庵の功績は1481年に伊地知重貞とともに、朱子学の書「大学章句」を発行したことと、漢文の訓読法を開発したことです。この大学章句は、日本における初めての朱子学の書物であり、鹿児島県の印刷・出版の先駆けとなりました。



黎明館所蔵・桂庵禅師肖像

また、加治木饅頭の製法を明から伝えたのではないかとの説もあります。

桂庵禅師没後五百年を記念して作られた桂庵まんじゅう(左:草紫庵やまぐち提供)と桂庵御膳(右:つんつる天提供)

